

## I C T を活用したセルリーの栽培

- J A 山形市は、新規就農者の負担を軽減し、生産の効率化を図るため、セルリーの栽培管理に I C T を導入した。
- ビニールハウス内にセンサーを設置して、温度・照度・土の湿度を計測し、データを外部のクラウド上に蓄積する。温度や湿度が設定した基準値を超えた場合、生産者のスマートフォンなどに電子メールで通知される。
- データをクラウド上に蓄積し続けることで、作物の出来・不出来の原因を客観的に分析できるようになり、天候に左右されにくい栽培方法の考案につなげる。
- 平成 29 年 11 月開始。

J A 山形市



温度  
湿度  
照度  
土中温度  
土中水分